資料6-3

低炭素社会実行計画参加者リスト

日本ゴム工業会

企業名
株式会社ブリヂストン
横浜ゴム株式会社
住友ゴム工業株式会社
東洋ゴム工業株式会社
バンダー化学株式会社
三ツ星ベルト株式会社
ニッタ株式会社
住友理工株式会社
株式会社イノアックコーポレーション
西川ゴム工業株式会社
株式会社明治ゴム化成
丸五ゴム工業株式会社
鬼怒川ゴム工業株式会社
興国インテック株式会社
昭和ゴム株式会社
日東化工株式会社
藤倉ゴム工業株式会社
オーサカゴム株式会社
クレハエラストマー株式会社
早川ゴム株式会社
広島化成株式会社
オカモト株式会社
株式会社東洋ゴムチップ
村岡ゴム工業株式会社
株式会社ニチリン
株式会社金陽社
ヤマウチ株式会社

(計27社、業種分類は全て「(4)ゴム」)

※【別紙1】について／温対法と低炭素社会実行計画では、「バウンダリー(算定対象範囲)および算定方法・係数等に違いがある」という理由で、CO2関係の数値(排出量、原単位等)についての比較ができない制度になっている。また、

※【別紙2】について／各企業における同数値に関する目標と低炭素社会実行計画における業界全体の目標も、同じく「バウンダリー(算定対象範囲)および算定方法・係数等に違いがある」という理由により、比較できないものとなっている。

以上により、上記内容について本報告書において報告することは適当でないと考える。

なお、個々の会社情報については、積極的に開示している各社の取り組み(環境関係報告書等)や環境省による温対法の結果がそれぞれHP等で公表されているので、(バウンダリーや係数等の違いを確認の上)そちらを参照のこと。

○注意点

・計画参加企業名及び業種分類について記載。

※以下の事業者・事業所については、地球温暖化対策の推進に関する法律(温対法、平成10年法律第117号)の規定により、行政に報告した「エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素」の算定排出量を記載。

①全ての事業所の原油換算エネルギー使用量合計が1,500ki/年以上となる事業者(省エネ法の特定事業者)

②原油換算エネルギー使用量が1,500ki/年以上となる事業所(省エネ法のエネルギー管理指定工場等)

※温対法の温室効果ガス排出量の算定・報告・公表制度において、非開示とされた事業所においてはCO2算定排出量の記載は不要。

※原油換算エネルギー使用量が1,500ki/年未満の事業所については、事業所名を含め記載不要。

○業界分類

- (1)パルプ (2)紙 (3)板紙 (4)石油化学製品
 (5)アンモニア及びアンモニア誘導品 (6)ソーダ工業品 (7)化学繊維
 (8)石油製品(グリースを除く) (9)セメント (10)板硝子 (11)石灰
 (12)ガラス製品 (13)鉄鋼 (14)銅 (15)鉛 (16)亜鉛
 (17)アルミニウム (18)アルミニウム二次地金 (19)土木建設機械
 (20)金属工作機械及び金属加工機械 (21)電子部品 (22)電子管・半導体素子・集積回路
 (23)電子計算機及び関連装置並びに電子応用装置 (24)自動車及び部品(二輪自動車を含む)
 (25)その他

前年度からの変更点				
項目	年度	変更前	変更後	理由
1. 目標指標	2013年度	CO2排出量	CO2排出原単位	Ⅱ.(1)③【目標指標の選択の理由】参照 (2013年度実績のフォローアップ報告書)
2. 目標水準	2013年度	2008～2012年度5年間平均で1990年度比10%削減	2020年度において2005年度比15%削減	低炭素社会実行計画への移行で、基準年度、目標年度、係数設定等が変わり、新たに目標設定した。
3. 前提条件	2013年度	電力係数:各年度係数、発電端	電力係数:基準年度の固定係数、受電端	低炭素社会実行計画への移行で、基準年度、目標年度、係数設定等が変わり、新たに目標設定した。
4. 想定しているBAT				
5. データの取扱				
6. 業界間バウンダリー				

※※上記6項目について変更が生じた場合は、変更年度と変更前後の情報、変更する理由を記載。前年度からの変更点のみならず、過去の変更情報がある場合、変更情報を累積して記載し、遡って確認できるようにすること。また、行は必要に応じて追加すること。

生産活動量、エネルギー消費量、エネルギー原単位、CO2排出量、CO2排出原単位の実績と見直し

※従来枠組(2012年度までの自主行動計画)において、日本ゴム工業会では、国等によって推奨され、業界として努力を行ってきたコジェネの導入効果の評価するため、2007年度より火力原単位方式での算定方法(CO2排出量の算定方式に使用する係数を変更)を採用することとし、本考え方は同年度のフォローアップにおいて採用・評価されたため、現枠組でも継続している。

O実績		1990年度	1997年度	1998年度	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2020年度目標	2030年度目標	
生産活動量	新ゴム量換算(千t)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1546.7	1571.5	1582.9	1440.3	1242.3	1421.3	1440.9	1336.3	1357.2	1332.9	1247.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1393.0	
	目標比																												
エネルギー消費量	基準年度比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	101.6%	102.3%	93.1%	80.3%	91.9%	93.2%	86.4%	87.7%	86.2%	80.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	90.1%	
	実績(万k)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	112.6	112.1	112.9	105.4	98.3	104.9	105.1	99.4	98.0	96.4	93.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績(TJ)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	43658.5	43440.3	43771.5	40870.8	38091.9	40644.8	40727.8	38544.5	37982.9	37360.6	36062.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績(万kWh)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	21936.0	20503.0	20045.0	19633.0	18045.0	19780.0	19683.0	18878.0	19115.0	19200.0	18466.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	進捗率(目標比)																												
	想定比																												
CO2排出量	基準年度比																												
	実績(万t-CO2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	212.8	197.5	205.6	190.2	166.0	177.0	206.4	210.5	209.2	202.8	190.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	調整後排出係数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	212.8	197.5	205.6	169.4	149.3	158.6	196.3	185.3	209.1	202.4	189.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	固定ケース	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	232.6	221.7	216.4	202.6	186.5	198.9	200.1	187.1	186.4	184.6	177.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	業界指定ケース	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	212.8	201.4	195.6	183.6	168.6	179.7	181.0	168.7	168.1	166.6	160.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	進捗率(目標比)																												
エネルギー原単位	実績(kJ/千t)																												
	実績(kJ/千t)										728.0	713.3	713.2	731.8	791.3	738.1	729.4	743.8	722.1	723.2	745.5							0.000	0.000
	熱量換算ベース										28.227	27.643	27.653	28.377	30.662	28.597	28.266	28.844	27.986	28.030	28.907							0.000	0.000
	うち購入電力量										141.825	130.468	126.635	136.312	145.255	139.168	136.602	141.271	140.841	144.047	148.024							0.000	0.000
	進捗率(目標比)																												
	想定比																												
CO2原単位	実績(t-CO2/千t)																												
	実績(t-CO2/千t)										1375.8	1256.8	1298.9	1320.6	1336.2	1245.3	1432.4	1575.2	1541.4	1521.5	1523.8								
	調整後排出係数										1375.8	1256.8	1298.9	1176.1	1201.8	1115.9	1362.3	1386.7	1540.7	1518.5	1515.8								
	固定ケース										1503.8	1410.8	1367.1	1406.7	1501.2	1399.4	1388.7	1400.1	1373.4	1385.0	1422.0								
	業界指定ケース										1375.8	1281.6	1235.7	1274.7	1357.2	1264.3	1256.2	1262.4	1238.6	1249.9	1283.4							1169.400	1086.900
	進捗率(目標比)																			66.5%	61.0%	44.8%						100.0%	100.0%
想定比																													
基準年度比																													
カバー率(企業数)			0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	23.9%	22.5%	22.9%	21.8%	22.5%	23.1%	23.5%	23.3%	23.9%	25.5%	25.5%	0%	0%	0%	0%	0%	-	-

※カバー率の変動は、分母となる団体加盟企業数の変動による。参加企業数(27社)は基準年度(2005年度)～直近年度まで変更なし。

O2020年度までの見直し		1990年度	1997年度	1998年度	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2020年度目標	2030年度目標	
生産活動量	新ゴム量換算(千t)																			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1393.0
	想定値/実績値																												
エネルギー消費量	実績(万k)																			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	想定値/実績値																												
CO2排出量	万t-CO2																			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	想定値/実績値																												
エネルギー原単位	実績(kJ/千t)																			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	想定値/実績値																												
CO2原単位	実績(t-CO2/千t)																			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	想定値/実績値																												
カバー率(企業数)																				0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	-	-

【備考】
 ※進捗率：2020年度の目標水準（基準年度からの削減幅）を100%として、目標水準と実績との比率。（進捗率）＝（基準年度の実績水準－当年度の実績水準）／（基準年度の実績水準－2020年度の目標水準）×100（%）

※想定比：当年度について予め想定した水準（基準年度からの削減幅）を100%として、想定水準と実績との比率。（想定比）＝（基準年度の実績水準－当年度の実績水準）／（基準年度の実績水準－当年度の想定した水準）×100（%）

※カバー率(企業数)：低炭素社会実行計画参加企業のうち、実績データに含まれる企業数(アンケート回答社数等)の団体加盟企業数に占める割合

【別紙6】対策リスト

実施した対策、投資額と削減効果										
	番号	対策名	対策内容	対策実施率	投資額		(年間)		(投資期間全体)	
					数量	単位	数量	単位	数量	単位
2014年度 まで	1									
	2									
	3									
	4									
2015年度	1									
	2									
	3									
	4									
	5									
2016年度	1									
	2									
	3									
	4									
	5									
2017年度	1									
	2									
	3									
	4									
	5									

- ※1 業界として特に重要だと考えている対策を毎年度3～5つ程度記載。
 ※2 対策実施率は、業界内での対策の実施状況(最新設備の導入率等)を記載。
 ※3 2015年度に実施予定の対策は必ず記入すること。

【別紙7】クレジット活用実績

クレジット等の活用実績									
○クレジット合計(参考)									単位:t-CO2
	2012年度まで	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
取得量(※)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
償却量	0	0	0	0	0	0	0	0	0
○京都メカニズムクレジット									単位:t-CO2
	2012年度まで	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
取得量(※)									
償却量									
○JCMクレジット									単位:t-CO2
	2012年度まで	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
取得量									
償却量									
○J-クレジット(国内クレジットも含む)									単位:t-CO2
	2012年度まで	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
取得量									
償却量									

※ 京都メカニズムクレジットにおいては、政府口座への償却前移転量とする。

業務部門(本社等オフィス)の対策と削減効果							
	対策項目	削減効果					
		CO2削減量(t-CO2/年)			エネルギー削減量(MJ/年)		
		2015年度	2015年度までの累積	2016年度以降	2015年度	2015年度までの累積	2016年度以降
照明設備等	昼休み時などに消灯徹底化	0.00	0.00	0.00	0	0	0
	退社時にはパソコンの電源OFFの徹底化	0.00	0.00	0.00	0	0	0
	照明のインバーター化	0.00	0.00	0.00	0	0	0
	高効率照明の導入	0.00	0.00	0.00	0	0	0
	トイレ等の照明の人のセンサー導入	0.00	0.00	0.00	0	0	0
	照明の間引き	0.00	0.00	0.00	0	0	0
空調設備	冷房温度を28度設定にする	0.00	0.00	0.00	0	0	0
	暖房温度を20度設定にする	0.00	0.00	0.00	0	0	0
	冷暖房開始時の外気取り入れの停止	0.00	0.00	0.00	0	0	0
	空調機の外気導入量の削減	0.00	0.00	0.00	0	0	0
	水蓄熱式空調システムの導入	0.00	0.00	0.00	0	0	0
エネルギー	業務用高効率給湯器の導入	0.00	0.00	0.00	0	0	0
	太陽光発電設備の導入	0.00	0.00	0.00	0	0	0
	風力発電設備の導入	0.00	0.00	0.00	0	0	0
建物関係	窓ガラスの遮熱フィルム	0.00	0.00	0.00	0	0	0
	エレベータ使用台数の削減	0.00	0.00	0.00	0	0	0
	自動販売機の夜間運転の停止	0.00	0.00	0.00	0	0	0